

石橋陽子 | Yoko Ishibashi

Website : <https://www.yoko-ishibashi.com/>

Instagram : https://www.instagram.com/yoko_ishibashi/

1999年より独学にて製作活動を開始。民俗学に興味を持ち
プリミティブな作品を製作。

2013年より図形の持つ深遠さ、性別を問わない中性的な印象に魅了され現在に至る。

<作家ステイトメント>

手法にこだわらず、図形・点・線のフォルムを使いミニマルに表現しています。言葉が世界を表現しているように、図形も世界を表していると思う。とても身近な物から遠い宇宙、目に見えない心までも。世界共通の認識があり、誰しもが使える図形を自分というフィルターを通し、言葉を紡ぐように、心地のよいバランスを探しながら、新しい形へ変換し見る側の想像力の喚起へと繋いでいます。

活動

2012 Gallery 銀座一丁目 ART&LOVE TOKYO グループ展

2012 中目黒 NO DESIGN GALLERY NAKAMEGURO グループ展

2013 Gallery 銀座一丁目 ART&LOVE TOKYO グループ展

2014 渋谷ヒカリエ ShinQs グループ展

2015 日本橋三越本店 5F アディショナルタイム

2022 SICF MARKET 部門

2022 Spiral Entrance 「Fragment」 グループ展

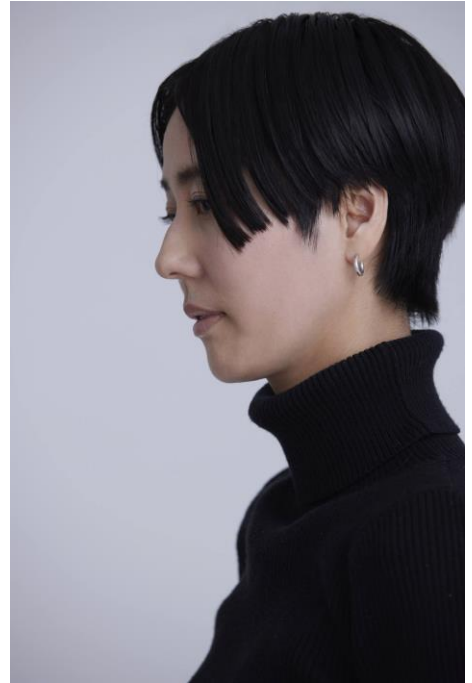
2022 Spiral Xmas Market 2022

2023 SICF MARKET 部門 受賞者展

2023 SICF MARKET 部門 受賞者展 巡回展

SPIRAL Creators File 「YOKO ISHIBASHI」 「+S」 Spiral Market 大阪タカシマヤ 2023 Spiral Entrance 「Fragment」 グループ展

2023 ギャラリー石榴 松本 「夏の間」 コレクション展





Untitled 紙にアクリル 25.4 × 20.3 cm (frame) 2023

作品は、無題です。縦横斜めと自由に見る側の感覚にお任せしています。それは、固定観念のない図形ならではの楽しみのひとつだと思っています。雲を見て何かに見えるのと同じように、ただそう見えた、こう感じた、その時の感覚、感性を大切にしてみる。現実を少し片隅に置いて、何も考えず無言であるものを見つめる時間は、自分の気持ちや感覚と向き合うことなのかもしれません。それぞれの持つありのまま感性でタイトルを導き出す。答えは外ではなく、あなたの感じたことが正解だと思っています。



Untitled キャンバスにアクリル 27.3 × 22.0 cm(3F) 2023

相反するふたつの要素が共存し構成させているこの世界。
自然界と人工物、光と影、女性性と男性性、陽気と陰気。
どちらかだけでは成り立たない。
双方の存在を認識し、受け入れた先に生まれる偏ることのない混ざり合う世界。
意図せずに表現されるゆるやかな色彩の滲み、意図して表現される
人工的な直線にて構成されている。